



ご挨拶

今年の校友会行事も、皆様のご支援により計画通りに進めることができ、感謝を申し上げます。

いささか唐突ですが、トランプ政権で二番目に重要な存在であるマティス国防長官(元海兵隊大将)について、コメンテーターのエドワード・ルース氏が「フィナンシャル・タイムズ」で記事を書いています。とても共感を覚えましたので、以下に記します。(出所：日本経済新聞 2017年12月4日付・・・タイトル：「今年の人」をマティス氏に)

「ルース氏は国防総省の高官に、同省の戦略上の優先事項を3つ聞いたことがある。真っ先に挙がるのは、北朝鮮だろうと思っていたが、答えは『1に大統領の教育、2に大統領の教育、3に大統領の教育』だった。米国の同盟国も米政府関係者も、マティス氏がこの任務を遂行していることを知っている。私たちが今のところ、夜も安心して眠れるのは、トランプ氏が核兵器を使用するには、マティス氏を経由しなければならないことが大きい。マティス氏は兵士たちに、『武器を使う前に頭を使え』と忠告する人物なのだ。」

米政権内で大統領と食い違う発言をしても、自分の信念を貫いている立派な政治家がいます。我々、日本人も政治、経済、とりわけ北朝鮮問題を懸念しつつ新年を迎えますが、来年も校友の皆様にとり、幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

群馬県支部 支部長 中山捷介

29年度支部総会

10月21日(土)12時から「マリエール太田」にて、「平成29年度総会・地域交流講演会及び懇親会」を開催しました。総会は44名の出席のもと、中山支部長の挨拶並びに行事報告、続いて山崎会計幹事による会計報告と松本監査役の監査報告で終了しました。その後、中山支部長から「週刊ダイヤモンド」掲載の「最難関国立大学別 併願先大学ランキング」の紹介があり、これらの国立大学に出願した生徒の同志社大学への併願率が、大変高くなっているとの説明がありました。

その後、「同志社地域交流講演会」として、ノンフィクション作家の保坂正康氏(同志社OB)を講師に招き、「近代日本を俯瞰し、今後の日本について考える」という演題で、同志社関係者70名と一般の方90名の計160名の参加で講演会を開催しました。保坂氏は、史実を丁寧に検証していくことで本質が見えてくるとし、歴史を単に機械的に暗記するのではなく、その時代に生きた生身の人間の顔を見ようとするのが、大切だと強調されました。また、平成の時代認識として、政治家の劣化が顕著で、大震災を経験し、それに伴う人災も重なり、社会全体に虚無感が広がっていることを挙げられました。参加者から熱心な質問があり、それに丁寧に答えられた文字通りの地域交流が図られました。

記念撮影の後、懇親会には、八田総長・理事長や校友会中村副会長はじめ近隣校友会支部代表の方々、加えて新島学園の湯浅理事長、庭野教頭や、同窓会の村田副会長等々のご来賓をお迎えし、校友会・同窓会会員合わせて総勢72名の参加となりました。中山支部長の挨拶の後、八田総長・理事長と中村副会長からの祝辞を賜り、湯浅理事長による乾杯の音頭で宴会がスタートしました。

しばらく歓談した後、初参加者7名に自己紹介・スピーチをして頂きました。今年卒業したばかりの方も含め全員が平成卒の方でした。また、懇親会に参加された校友の中には、12名の平成卒の方がおられ、平成卒参加者数として過去最高となりました。

お開きとして、同窓会の豊泉支部長の挨拶があり、最後にカレッジソング・チェアへと進み、平成卒の三輪幹事の先導と同窓会の村田副会長によるピアノ伴奏によって、全員が肩を組み輪になり、カレッジソング斉唱と同志社チェアを高唱し、高揚感のうちの閉会となりました。



春の集い

3月18日(土)、校友会・同窓会49名の有志が「マリエール高崎」に集まり、恒例の「春の集い」を開催しました。

第1部として、角田幹事の紹介で群馬県出身の保坂修平さんのピアノと国貞雅子さんのボーカルで、ジャズ演奏会をしました。昨秋、保坂さんがリリースしたアルバム「私とあなたの物語」の収録曲から、春の調べにふさわしいバラード調の曲や懐メロのジャズアレンジ等、二人の息のあった演奏にあつという間に1時間が過ぎました。

第2部として懇親会を行いました。中山支部長の開会挨拶の後、代表として新島学園の湯浅理事長にも挨拶を頂き、加邊副支部長の乾杯音頭で会は和やかにスタートしました。

今回は、上は82歳から下は30歳の49名の参加で、親と子というよりは祖父と孫という年齢幅のある「大家族」の懇親会となりました。最初は遠慮がちな雰囲気は、アルコールの助けもあり徐々に賑やかな宴会になっていきました。

中盤で、初参加の8名の方々の自己紹介がありました。会社を引退して家庭菜園に汗を流す方や、女性の弁護士の方や、体力維持でマラソンを続けている方など、県内で同志社OB・OGが頑張っている様子に参加者は聴き入っていました。

閉会の挨拶は恒例で同窓会の豊泉支部長にお願いしました。今年の校友会総会で講演を依頼している保坂正康氏が群馬県出身である裏話などを紹介して頂きました。

最後に鳥山会員の音頭で「カレッジソング」を合唱し、「同志社チア」で締めました。





平成卒交流会

今年度は3回の平成卒交流会を開催し、参加者が和気あいあいと懇親を深める事が出来ました。引き続き定期的に交流会を開催致しますので、ご興味のある方は、是非、幹事三輪まで連絡をお願いします。

(メールアドレス:k_miwa@gs21.co.jp)

- 4月14日(金)「酉こう」にて 6名(男性5名、女性1名)
6月13日(火)「和蘭ししがしら」にて 6名(男性5名、女性1名)
11月17日(金)「酒悦七」にて 12名(男性10名、女性2名)



新島研究会 山中温泉旅行

今年度の旅行は、新島先生が「湯治」に行かれた山中温泉を一泊二日の日程で選び、参加者は同窓会メンバーを含め10名でした、山中温泉は1300年前、東大寺建立で知られる行基が、薬師如来の教示を受け開湯したとされております。

1883年(明治16年・新島先生40歳)2月、新島先生は頭痛がひどく、家での面会時間を午後3時から5時に制限する広告を「七一雑報」に掲載し、そして8月6日「加療ノ為山中に参り湯治」とあります。

6月4日の初日は、「金沢21世紀美術館」で昼食し「兼六園」を散策した後、「石川県九谷焼美術館」を見学しました。夜は創業800年という山中温泉随一の老舗旅館「白鷺湯・たわらや」に宿泊しました。

翌日、「山中温泉ゆげ街道」、新島先生が宿泊された「泉屋」跡地、「那谷寺」を廻り、金沢駅でお土産を買い帰路に着きました。

今回の旅は、金沢駅でマイクロバスを運転手付きで2日間貸切ったので、自由にゆったりとした気分を味わうことができました。



新島学園創立70周年

12月2日(土)に新島学園創立70周年記念式典が開催されました。「種を蒔く」というのは、将来の「森」を育て、新島という「空気」を創る第1ステップであるとの壮大なビジョンの説明には感銘しました。

レセプションにも多くの方が参加され、和やかな中にも今後の新島学園に期待する熱意を語られておりました。



秋のハイキング

11月19日(日)に昨年と同じ太田金山ハイキングを計画し、参加者は中山・松村・入江の3名と女性3名(中山・松村・入江)の6名でした。

前夜の強風で天気を心配しましたが、集合場所の太田大光院の駐車場に着いた時には、雲一つない上天気でした。大光院ではイチョウの木をバックに記念写真を撮り、裏手の紅葉の赤が快晴の青に映えてました。

昨年と違った急坂を登り、尾根に出ると物見台から赤城山や男体山が見え、予定通り12時に頂上に着き、昼食を取り休憩しました。

樹齢800年の大きなケヤキの木を見て、東へ出てみると筑波山がくっきり見えたので感動しました。それから新田神社をお参りし、ゆっくりと下山しました。途中、「ガイドダンス施設」を見学し、紅葉に囲まれた金龍寺に寄り、午後3時前に無事駐車場に着き、解散となりました。



同志社校友会群馬県支部親睦ゴルフ

5月15日(月)、「甘楽カントリークラブ」で、東毛地区と西毛地区の校友達(中山・川野・山岸・飯降・真下・梅田・三輪・鳥本・小泉・森川・入江)の11名が参加して、親睦ゴルフを行いました。新緑が深まる中、幸い天気にも恵まれて、楽しむことができました。

優勝は飯降氏(昭和44年文学部卒)でした。



平成30年計画案

来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。

Table with 13 columns (months) and 5 rows (activities: Spring Gathering, Golf, Exchange Meeting, Hiking, Travel, General Meeting). Circles indicate scheduled events.

群馬県支部「春の集い」の開催について(予告)

2018年3月3日(土)午後1時から「マリエール高崎」において「春の集い」が開かれます。

当日は、シンガーソングライター、伊藤誠氏(同志社大学51年度卒)のコンサートを予定しています。

校友のご参加、お待ちしております。

詳細のご案内は、後日改めて差し上げます。



総会・懇親会出席のお願い

同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。

2018年9月30日(日)予定 (マリエール高崎) 予定